

E A 21 環境経営レポート

対象期間 (令和6年3月～令和7年2月)

発行日：令和7年6月20日



有限会社 ユー・ピー・アート

〒837-0917 福岡県大牟田市大字草木201番地

TEL :0944-52-7292 FAX :0944-51-6433/0944-53-0045

E-mail :upart@sea.ariakenet.com

0	: 目次	1 P
1	: 組織の概要	
2	: 対象範囲（認証・登録範囲）・レポートの対象期間	2 P
3	: 環境経営方針	3 P
4	: 実施体制	4 P～5P
5	: 環境経営活動計画	6P
6	: 環境経営目標（次年度以降の中間目標を含む）	7 P～8 P
7	: 環境経営目標の実績	9 P～13 P
8	: 環境経営活動取組結果とその評価、次年度の取り組み内容	14 P～17 P
9	: 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	18 P
10	: 代表者による全体評価と見直しの結果	19 P
11	: 総評	20 P

1:組織概要

(1) 事業所及び代表者氏名

有限会社ユー・ピー・アート（代表取締役：黒田ひとみ）

(2) 所在地

福岡県 大牟田市 大字草木 201 番地

(3) 環境管理責任者、及び事務局担当者連絡先

環境管理責任者：與田恵 ・ 事務局：丸塚悠平

連絡先： T E L : 0944-52-7292（代表） / 0944-53-0052

F A X : 0944-51-6433

E - m a i l : upart@sea.ariakenet.com

(4) 事業の概要

ハイテク産業関連プラスチック加工販売及び、樹脂関連看板資材販売・卸
（屋内、各種サインの製造販売）

(5) 事業の規模

- ・社員数： 12名
- ・延べ床面積：3500㎡（2社合計）
- ・売上高：17,065万円（令和6年度売上高）

(6) 会計年度

3月～翌年2月

2:対象範囲(認証・登録範囲)

(1) 対象範囲（認証・登録範囲）（全組織・全活動が対象）

認証・登録番号：0003936

認証・登録年月日：2009年7月31日

認証・登録事業者名：有限会社ユー・ピー・アート

対象事業所名：本社

対象活動：ハイテク産業関連プラスチック加工販売、樹脂関連看板資材販売・
卸、屋内外各種サインの製造販売

3:環境経営方針

環境経営方針

制定日： 平成20年9月1日

改訂日： 令和6年6月20日

有限会社ユー・ピー・アートは、

「ハイテク産業関連プラスチック加工販売、樹脂関連看板資材販売・卸」
「屋内、各種サインの製造販売」

以上の事業活動を通じて、地球と地域の環境の保全を行いつつ社会に貢献します。

①：環境経営に積極的に取り組むために、環境経営システムを構築し、継続的な改善を行い、環境負荷の低減に取り組みます。

②：環境への取り組みとして、次の事項に取り組みます。

- 一、 地球温暖化防止のためのCO₂排出量の削減
- 二、 省エネ活動による、電気及び石油使用量の削減
- 三、 省資源活動による、水及び紙使用量の削減
- 四、 廃棄物（一般廃棄物・産業廃棄物）の減量化及び再生活動の推進
- 五、 グリーン調達の実施 及び、
化学物質などによる環境負荷の低減と汚染の防止に努める
- 六、 生産に関する環境配慮活動の実施
- 七、 製品中の化学物質の把握と管理
- 八、 地域貢献活動の推進

③：当社の事業活動に関連する環境関連法規制を遵守します。

④：環境経営システムの内容を、全社員に周知徹底し、環境に対する意識の向上に努めます。

有限会社ユー・ピー・アート

代表取締役社長：

黒田 ひとみ

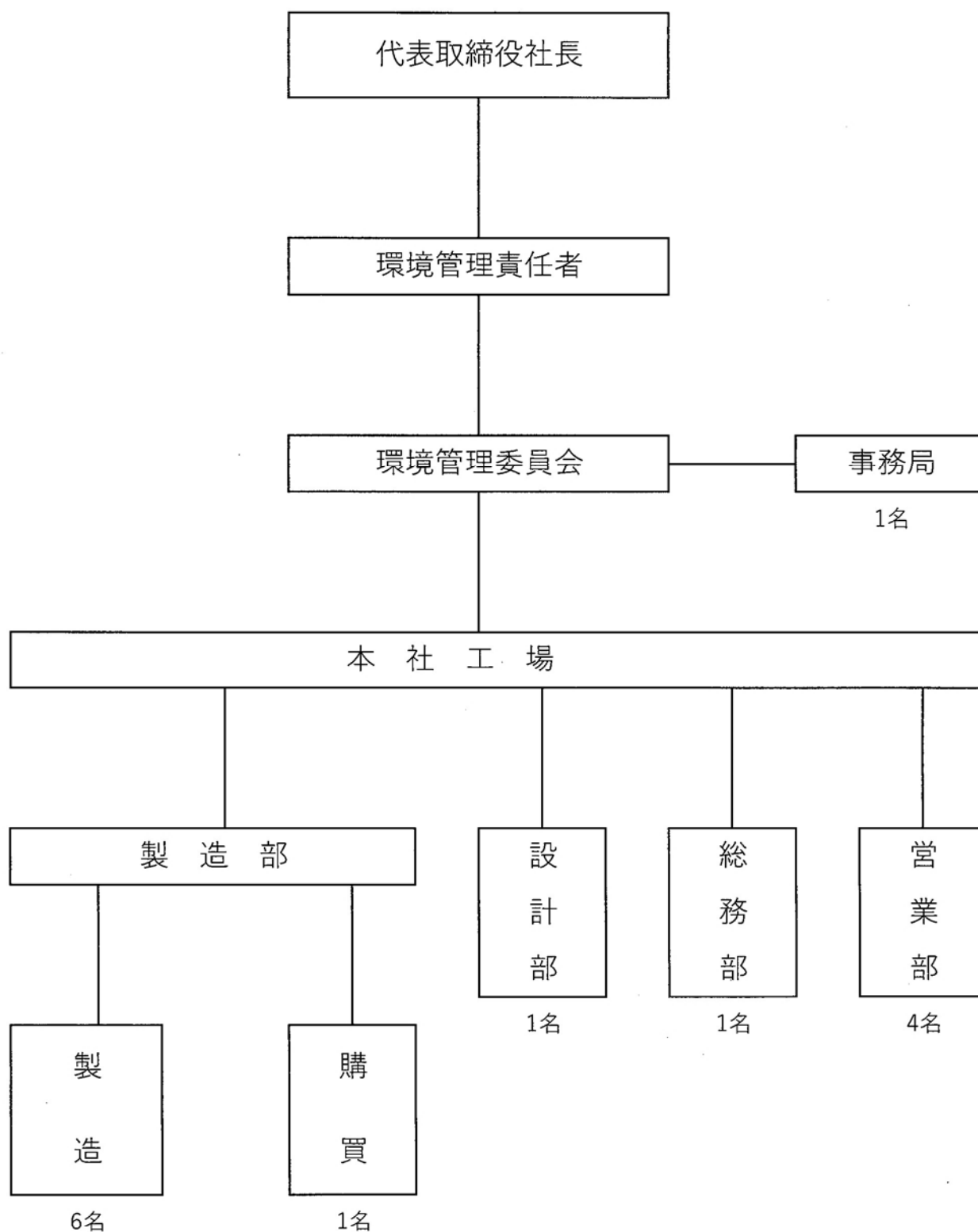
4:実施体制

- (1) 社長は、当社の環境管理体制を下図のとおり定める。
- (2) 各自の役割、責任及び権限を手順書に定め、
全社員に周知する。
- (3) 社長は、環境経営システムを構築し、
その状況を社長に報告する役割を果たす環境管理責任者を指名する。

有限会社 ユー・ピー・アート 会社組織図・実施体制 令和7年6月20日 現在			
有限会社ユー・ピー・アート：所属12名			
製造部	設計部	営業部	経理・購買
6名 (内、1名はパート社員)	1名 (製造部と兼任)	4名	1名 ※購買担当者のみ所属
環境管理委員会：委員6名			
委員長（環境管理責任者）（製造部所属）			
代表取締役社長			
事務局（営業部所属）			
営業部・部長			
営業部・課長			
設計部・課長			
※上記委員は、環境活動における全従業員の指導・監督の役割を担う。 委員会にて、活動の報告・環境活動の方向性の決定を行う。 （委員会は月に1度行う。）			

実施体制

作成日	改訂日
H20年9月25日	R6年6月20日



5:環境経営活動計画

取組目標			実施項目	実施目的/内容	実施期間	担当部署
1	購入電力量の削減		・始業点検の実施（工作設備等） ・電力消費抑制（工作設備等） ・不具合確認（漏電/利用料変動）		・通年	製造部
			照明の無駄削減/消灯確認（実施/指導）			
			・エアコン設定（夏季：27℃/冬季：20℃）（実施/確認/指導）		・夏季/冬季 （使用期間中）	
			・エアコン定期清掃（フィルター回り）（実施/確認/指導）		・夏季/冬季 （使用期間中） （月1回）	
2	燃料 使用量 削減	1. ガソリン	・エコドライブ実施	・運転意識向上推進 ・使用状況の把握（車両管理者） ・定期指導/教育	・通年	営業部
		2. 軽油				
		3. 灯油	・ストーブ使用時間/設定見直し	・使用状況の把握 ・定期点検 ・無駄な使用の削減	・冬季 （使用期間中）	製造部
3	水使用量削減		・節水表示による意識付け	・ラベル表示（蛇口廻り） ・定期確認/見直し（不備/内容）	・通年	総務部
			・水漏れ確認実施（水廻り） ・不具合確認実施（水廻り/使用量変動）		・通年 （月1回）	
4	コピー用紙 使用量削減		・用紙節約表示による意識付け	・ラベル表示（コピー機廻り） ・定期確認/見直し（不備/内容）	・通年	製造部
			再利用（裏紙等）/電子化推進	・裏紙等の整理整頓 ・コピー機廻りの改善/整理 ・PC利用への切替 ・（FAX→メール等）		
5	廃棄物削減 （一般廃棄物 ・産業廃棄物）		・分別の徹底 ・リユース/リサイクル推進 ・廃棄物の発生抑制	・分別方法の定期見直し ・再利用の為の分別推進 ・削減目標の意識付け ・定期指導/教育 ・発生量/原因の調査	・通年	製造部
6	グリーン調達 ・購入の実施		・グリーン調達・購入対応品への切り替え促進 ・調達方法/物品の定期見直し ・原材料/購入品の化学物質の把握・管理		・通年	営業部
7	地域貢献活動		・会社周辺の定期的な清掃活動 ・地域リサイクル活動/貢献活動への積極的参加の促進		・通年 （月1回）	総務部
8	製品中の 化学物質の 把握と管理		・使用製品/原材料における化学物質の管理/把握 （購入先問い合わせ/資料管理） ・顧客より問い合わせの際の情報開示（上記情報）		・通年	製造部
9	製品に関する 環境配慮活動の 実施		・生産効率の改善/上昇	・改善ミーティング実施 （安全教育兼） ・生産時間短縮による削減 （電力/廃棄物他）	・通年 （月2回）	製造部
			・不良品の削減			
			・在庫の整理/状況把握（原材料等）	・通年		
10	環境教育の 予定・実施		・環境方針、環境経営目標、環境経営活動計画、環境関連社内規定、 業務との関係		・適宜	製造部
			・関連法規制等			

備考：

・責任者は担当者が役割を果たしているかどうか監督とする役割とする。

・担当者は直接確認を行う場合と、皆を指導する役割を持つ。

6:環境経営目標 (次年度以降の中期目標を含む)

項目		単位	目標基準値	3ヶ年計画		
				令和4年度 (3月～翌年2月)	令和5年度 (3月～翌年2月)	令和6年度 (3月～翌年2月)
				基準値よりの削減目標値		
				0.25%	0.50%	0.75%
1-1 購入電力量削減①		kWh	1334	1331	1327	1324
	CO2排出量削減	kg-CO ₂	640	639	637	636
1-2 購入電力量削減②		kWh	95356	95118	94879	94641
	CO2排出量削減	kg-CO ₂	41385	41281	41178	41074
1-3 購入電力量削減①+②		kWh	96690	96448	96207	95965
	CO2排出量削減	kg-CO ₂	42025	41920	41815	41710
2-1 燃料使用量削減 ーガソリン		L	6500	6484	6468	6451
	CO2排出量削減	kg-CO ₂	15080	15055	15018	14980
2-2 燃料使用量削減 ー灯油		L	1250	1247	1244	1241
	CO2排出量削減	kg-CO ₂	3113	3103	3096	3088
CO2排出量削減 (電力 + 燃料)		kg-CO ₂	60217	60079	59928	59777
3水使用量削減		m ³	26	26	26	26
4コピー用紙使用量削減		kg	175.000	174.563	174.125	173.688
5廃棄物削減	一般廃棄物	t	0.500	0.499	0.498	0.496
	産業廃棄物		6.500	6.484	6.468	6.451
6グリーン調達・購入の実施		—	・グリーン調達・購入対応品への切り替え促進 ・調達方法/物品の定期見直し ・原材料/購入品の化学物質の把握・管理			
7地域貢献活動の実施		回	12	12	12	12
8製品中の化学物質の把握と管理		—	・使用製品/原材料における化学物質の管理/把握 (購入先問い合わせ/資料管理) ・顧客より問い合わせの際の情報開示 (上記情報)			
9製品に関する環境配慮活動の実施		回	24	24	24	24

次年度以降3ヶ年計画

作成日

令和7年度2月20日

- ・以下の数値を削減基準とし、3ヶ年目標（令和7年から令和9年まで）の目標とする。
- ・3ヶ年目標として目標基準値より毎年0.25%の削減目標とする。

項目		単位	目標基準値	3ヶ年計画		
				令和7年度 (3月～翌年2月)	令和8年度 (3月～翌年2月)	令和9年度 (3月～翌年2月)
				基準値よりの削減目標値		
				0.25%	0.50%	0.75%
1-1 購入電力量削減①	kWh	1000	998	995	993	
CO2排出量削減	kg-CO ₂	402	401	400	399	
1-2 購入電力量削減②	kWh	95000	94763	94525	94288	
CO2排出量削減	kg-CO ₂	54245	54109	53974	53838	
1-3 購入電力量削減①+②	kWh	96000	95760	95520	95280	
CO2排出量削減	kg-CO ₂	54647	54510	54374	54237	
2-1 燃料使用量削減 - ガソリン	L	6000	5985	5970	5955	
CO2排出量削減	kg-CO ₂	13740	13706	13671	13637	
2-2 燃料使用量削減 - 灯油	L	1250	1247	1244	1241	
CO2排出量削減	kg-CO ₂	3125	3117	3109	3102	
CO2排出量削減（電力＋燃料）	kg-CO ₂	71512	71333	71154	70976	
3水使用量削減 ※1	m ³	26	26	26	26	
4コピー用紙使用量削減	kg	160.000	159.600	159.200	158.800	
5廃棄物削減	一般廃棄物	t	0.500	0.499	0.498	0.496
	産業廃棄物	t	6.500	6.484	6.468	6.451
6グリーン調達・購入の実施	—	・グリーン調達・購入対応品への切り替え促進 ・調達方法/物品の定期見直し ・原材料/購入品の化学物質の把握・管理				
7地域貢献活動の実施	回	6	6	6	6	
8製品中の化学物質の把握と管理	—	・使用製品/原材料における化学物質の管理/把握 （購入先問い合わせ/資料管理） ・顧客より問い合わせの際の情報開示（上記情報）				
9製品に関する環境配慮活動の実施	回	12	12	12	12	

備考：

- ・上記の表の数値を削減基準とし、3ヶ年目標（令和7年から令和9年まで）の目標とする。
- ・3ヶ年目標として目標基準値より毎年0.25%の削減目標とする。
- ・数値については、電力・燃料は（実績値の合計を含め）小数点以下の数値は切り上げとする。
- ・購入電力の排出係数には令和5年度の調整後排出係数「①九州電力㈱：0.402（kg-CO₂/kWh）」と「②みやまスマートエネルギー㈱：0.571（kg-CO₂/kWh）」を使用。（目標作成時点で最新の数値を用いる。）
- ・ガソリンのCO₂排出量の算出には、環境省の令和5年度の二酸化炭素排出量(2.29kg-CO₂/L)を用いる。
- ・灯油のCO₂排出量の算出には、環境省の令和5年度の二酸化炭素排出量(2.50kg-CO₂/L)を用いる。
- ※1. 水使用量については検針が1m³単位の為、目標値と同数値で目標達成とする。（1m³単位でしか判別できない為）
- ・コピー用紙使用量は「kg」単位で、小数第3位まで記載し、それ以下は四捨五入する。
- ・廃棄物削減（一般・産業）については、小数点第3位まで記載し、それ以下は四捨五入する。
- ・グリーン調達・購入の実施については、上記の通りとする。
- ・地域貢献活動の実施については、会社周辺の清掃活動等の実施回数を記載する。
- ・製品に関する環境配慮活動の実施については、改善ミーティングの実施回数を記載する。
- ・項目7・9に関しては基準値を毎年の目標値とする。

7：環境経営目標の実績

- ・当社における環境負荷低減活動として
- ・CO₂排出量の削減
- ・エネルギー消費量（購入電力及びガソリン・灯油の使用量）の削減
- ・水使用量の削減
- ・コピー用紙使用量の削減
- ・産業廃棄物の削減（分別によるリサイクルを進める・廃棄物の発生抑制）
- ・グリーン調達・購入の実施
- ・地域貢献活動の実施
- ・製品に関する環境配慮活動の実施

における数値目標の達成に取り組みました。

- ・令和元年～令和3年度の前3ヶ年度の実績値を参考にして削減基準値を定め、3ヶ年目標（令和4年から令和6年まで）の目標を立てました。

令和4年度の環境目標は基準比より0.25%の削減とします。

また3ヶ年目標として、次年度：0.5%・次々年度：0.75%の削減目標とします。

水使用量については、基準値を毎年の目標値とし、検針が1m³単位の為、目標値と実績値が同じ場合、目標達成とします。

- ・上記以外の数値で表せない活動目標についても積極的に取り組みました。

令和6年3月～令和7年2月までを取組結果として、以下の表にまとめました。

項目			目標基準値 ※ 1	本年度目標値 (3月～翌年2月) 基準値よりの 削減目標値 0.75%	本年度実績値	
					(3月～翌年2月)	達成可否
1	購入電力量削減	kWh	96690	95965	84046	○
	④+⑤ CO2排出量削減	kg-CO ₂	42025	41710	36476	○
2	燃料使用量削減ーガソリン	L	6500	6451	4768	○
	CO2排出量削減	kg-CO ₂	15093	14980	11071	○
	燃料使用量削減ー灯油	L	1250	1241	1260	×
	CO2排出量削減	kg-CO ₂	3111	3088	3136	×
CO2排出量削減(合計) (電力・燃料)		kg-CO ₂	60229	59777	50683	○
3	水使用量削減 ※ 1	m ³	26	26	27	×
4	コピー用紙使用量削減 ※ 2	kg	175.000	173.688	101.950	○
5	廃棄物削減 一般廃棄物 ※ 2	t	0.500	0.496	0.409	○
	産業廃棄物 ※ 2		6.500	6.451	9.338	×
6	グリーン調達・購入の実施	個	・グリーン調達・購入対応品への切り替え促進 ・調達方法/物品の定期見直し ・原材料/購入品の化学物質の把握・管理			—
7	地域貢献活動の実施	回	12	12	12	○
8	製品中の化学物質の把握と管理	—	・使用製品/原材料における化学物質の管理/把握 (購入先問い合わせ/資料管理) ・顧客より問い合わせの際の情報開示(上記情報)			—
9	製品に関する環境配慮活動の実施	回	24	24	24	○

備考：

- ・数値については、電力・燃料は(実績値の合計を含め)小数点以下の数値は切り上げとする。
- ・購入電力の排出係数には平成29年度の調整後排出係数「④九州電力(株)：0.480(kg-CO₂/kWh)」と「⑤みやまスマートエネルギー(株)：0.434(kg-CO₂/kWh)」を使用。
(目標作成時点で最新の数値を用いる。)
- ※ 1 水使用量については検針が1m³単位の為、目標値と同数値で目標達成とする。(1m³単位でしか判別できない為)
- ※ 2 コピー用紙使用量は「g」単位で、廃棄物(一般・産業)は「kg」単位で確認できる様、
小数点第3位までの数値(それ以下は切り上げ)とする。(一般廃棄物「有資源化は含まず」)
- ・グリーン調達・購入の実施については、上記の通りとする。
- ・地域貢献活動の実施については、会社周辺の清掃活動等の実施回数を記載する。(目安を月1回とする。)
- ・製品に関する環境配慮活動の実施については、改善ミーティングの実施回数を記載する。(目安を月2回とする。)
- ・項目7・9に関しては基準値を毎年の目標値とする。

6 グリーン調達・購入の実施

- ・ グリーン調達・購入対応品への切り替え促進

⇒備品等、グリーン調達対応品への切り替え対応
見直せるもの（切り替え可能のもの）については定期的に見直した。

- ・ 調達方法/物品の定期見直し

⇒購入品における原材料をメーカーへ問い合わせ、SDS取り寄せ・管理保管した。
（購入履歴のない原材料について）

- ・ 原材料/購入品の化学物質の把握・管理

⇒原材料に含まれる化学物質の管理を行った結果、
含有量的にはPRTR制度の届出対象外であることが分かった。

7 地域貢献活動の実施

- ・ 会社周辺の定期的な清掃活動

⇒会社前の草刈り・ゴミ拾いを定期的に行った。
会社周辺・駐車場に関しては定期的に除草剤を撒くことにした。

8 製品中の化学物質の把握と管理

- ・ 使用製品/原材料における化学物質の把握と管理（購入先問い合わせ／資料管理）

⇒購入品における原材料をメーカーへ問い合わせ、SDS取り寄せ・管理保管した。

- ・ 顧客より問い合わせの際の情報開示（上記情報）

⇒顧客より上記情報の問い合わせ・送付依頼があった際に迅速に対応（情報開示）する。

9 製品に関する環境配慮活動の実施

- ・ 生産効率の改善/上昇

⇒生産効率の改善/上昇・不良品の削減のために製造部では月2回安全教育を行っている。
（生産用新治具の考案作成・設備仕様上の注意点等）

- ・ 不良品の削減 在庫の整理/状況把握（原材料等）

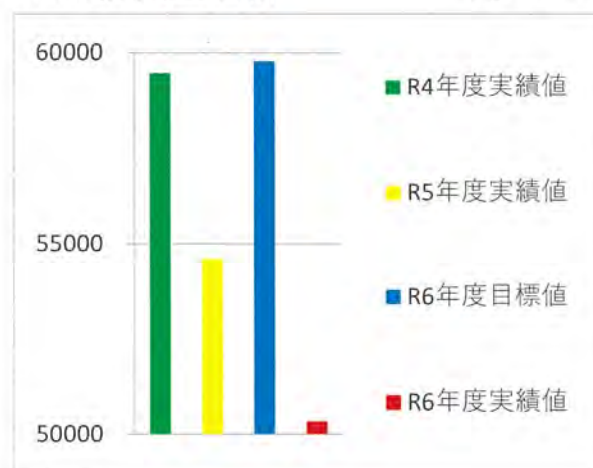
⇒在庫の状況を管理しやすくする為、ミスをなくすために始業前・終業後清掃、
定期的な工場内・倉庫整理（端材整理）・設備メンテナンスを行っている。

目標及び直近2年との比較の為、グラフをまとめました。(1/2)

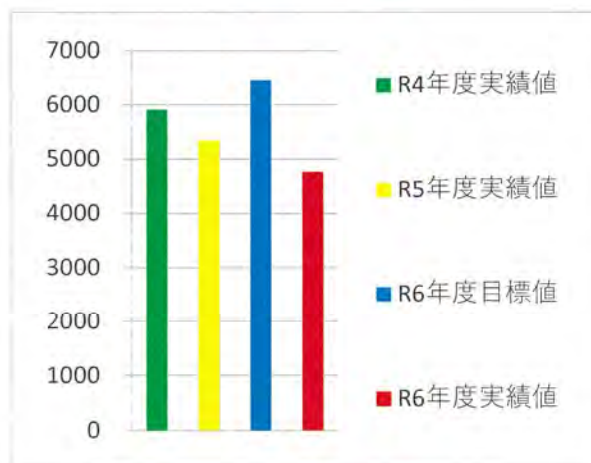
購入電力 (kWh)



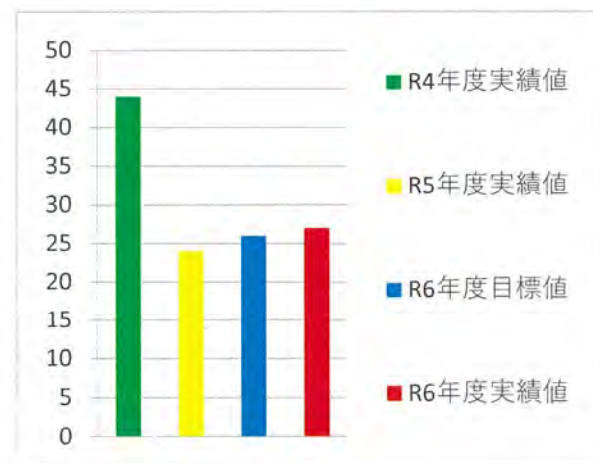
CO2排出量合計 (kg - CO₂)



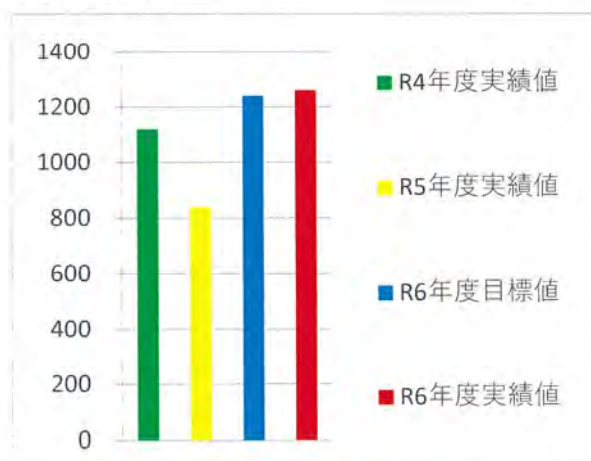
ガソリン (L)



水使用量 (m³)



灯油使用量 (L)

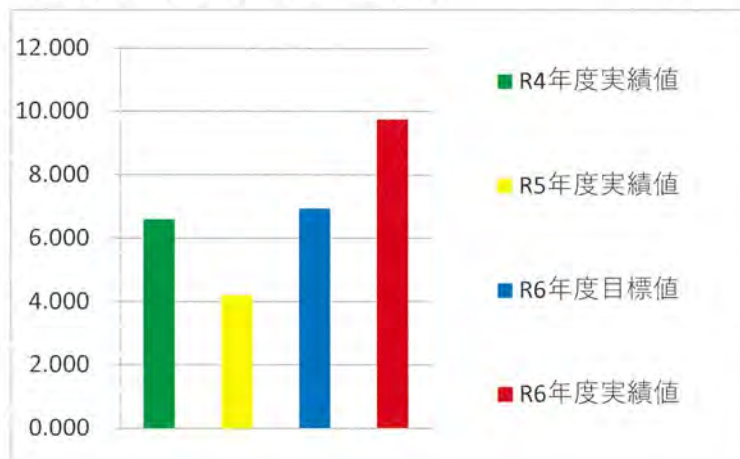


コピー用紙使用量 (kg)

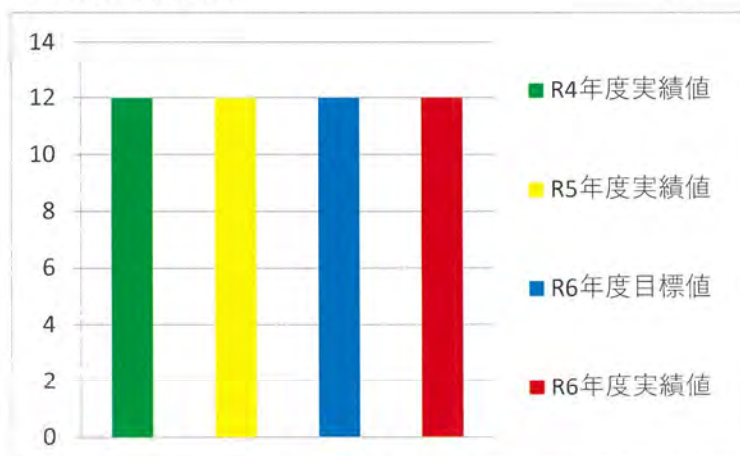


目標及び直近2年との比較の為、グラフをまとめました。(2/2)

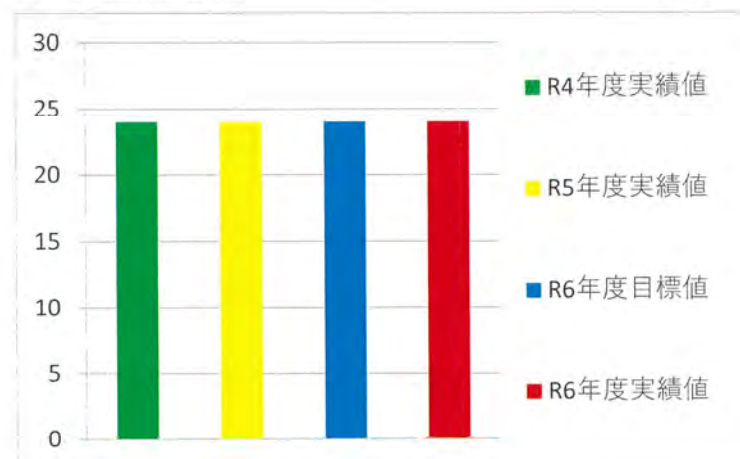
廃棄物削減（一般・産業） (t)



地域貢献活動 (回)



環境配慮活動 (回)



8. 環境経営活動取組結果とその評価、次年度の取り組み内容

< 1 : 購入電力量削減 >

環境目標値：95965 k W h に対して取組結果84046 k W h と約13%の削減となり目標達成となった。
引き続き節電の周知に努める。

取り組み内容

各電源スイッチのところに<節電シール>を貼り節電を呼び掛けた。



< 2 : 燃料使用量削減 >

ガソリンについては目標値6451 ℓ に対して、実績値4768 ℓ と約27%の削減となり目標達成となった。

灯油については目標値1241 ℓ に対して、実績値1260 ℓ と約1%の超過となり目標未達成となった。

灯油に関しては、購入分をそのまま記載（一回当たり約140 ℓ）している為、実際の使用量については、目標値以下の使用量であると考えられる。

次年度以降も目標値達成の為、引き続き削減に努める。

取り組み内容

ガソリンについては<運行記録票>に記入を呼び掛け、エコ運転を心掛けた。

<3：水使用量削減>

環境目標26㎡に対して、取組結果27㎡と約3%の超過となり目標未達成となった。

引き続き節水を心がけていく。

取り組み内容

水漏れテストの実施

各蛇口に<節水シール>を貼り、節水を呼びかけた。



<4：コピー紙使用量削減>

環境目標173.688kgに対して、取組結果101.950kgと約42%の削減となり目標達成となった。

裏紙の再利用など、紙の節約に今後も努める。

取り組み内容

各コピー機に<紙節約シール>を貼り、紙の節約に努めた。

紙の両面使用（裏紙使用）を呼び掛けた。



<5：廃棄物（一般廃棄物・産業廃棄物）削減>

一般廃棄物の目標値0.496 t に対して取組結果0.409 t と約18%の削減となり目標達成となった。

産業廃棄物の目標値6.451 t に対して取組結果9.338 t となり約44%の超過となり目標未達成となった。

倉庫を作業場に改築した際、大量の廃材が出た為の超過となった。

端材を治具等に使用し削減に努めていく。

取り組み内容

- ・樹脂廃棄物の分別の取り組みとして各場所に表示板を設置、分別に取り組みました。
- ・産業廃棄物管理票交付等状況報告書（令和6年度）分については、自治体担当部署へ令和7年度に提出しました。



<6：グリーン調達・購入実施の実施>

- ・グリーン調達基準に基づき、部品及び原材料の調達品に含有される環境関連物質の管理を実施した。
- ・備品等、切り替え可能なものに関しては、グリーン調達対応品への切り替えを購入担当者へ呼びかけをした。
- ・カタログ、テープ類等,変更した。

<7：地域貢献活動の実施>

- ・会社前の草刈、ゴミ拾いを定期的に行った。
- ・会社周辺、駐車場に関しては除草剤を定期的に撒くことにした。
- ・月1回を目安として行った。



<8:製品中の化学物質の把握と管理>

- ・購入品の新規の物に関しては昨年度に引き続き、S D S又は類似書式の物を取得する。
- ・次年度も継続して、含有化学物質の管理の実施、化学物質使用量の把握及び環境関連法規等を遵守できるように活動を行う。

<9:製品に関する環境配慮活動の実施>

- ・月2回の定期ミーティングの実施

ミーティング内容：安全教育（設備の使用方法・注意点の再確認・教育・指導）

生産効率改善の為の意見・気づいた点の報告

（改善結果の報告・生産用新治具の提案・製作報告等）

- ・不良品の削減や適正な在庫管理の為に以下の事を実施した。
- ・始業前・始業後の清掃や作業前・作業後の後片付け、設備の稼働前点検
- ・工場内・倉庫の原材料・端材等の定期的な整理整頓
- ・設備の定期的な整備（メンテナンス）

今後も積極的に実施していく。

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

・ 環境関連法規の遵守及び違反の有無

環境関連法規の遵守状況チェック結果に基づき代表者による見直しの中で、違反等は無かった。

※ 弊社が法的義務を受ける主な環境関連法規制は下記である

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

騒音規制法

振動規制法

消防法

浄化槽法

フロン排出抑制法

・ 指摘・訴訟の有無

環境法規制の遵守活動を通じて、令和6年度において関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間無かった。

また、周辺住民からの苦情もなく、訴訟についても無かった。

10:代表者による全体評価と見直しの結果

1、環境経営システムの有効性評価

令和6年度は、計画、実施、評価、見直しを含め社員の理解も進んでいる。
引き続き環境負荷低減の為、全社員一丸となって今後も進めていく。

2、環境への取り組み状況の評価

本年度は、水使用量と灯油・産業廃棄物が目標未達成となり、全ての環境目標値が達成できず残念な結果となった。

本年度の結果も踏まえ、今後はより一層削減できるよう、社員一丸となって努めていく。

・実施体制の見直し

・・・体制の見直しを行った結果、見直しの必要は無いと判断した。

・環境活動計画の実施及び運用結果

・・・各部門の環境活動計画に従い適切に処理されていることを

環境管理責任者が随時確認し、必要に応じて報告を取り纏めることで管理を行っている。

・環境関連法規等の遵守状況

・・・6月と12月に環境管理責任者が入手した制度改正情報を元に改訂の確認を行った上で判定を行ったものが環境関連法規等の遵守状況のチェック結果として取り纏められている。

・・・全て項目の環境関連法規を遵守しており違反は無い。

・各部からの環境に関する苦情や要望

・・・苦情は無かった。要望に関しては昨年あった安全データシート等の要望は無かったが、いつでも要望に応えられるよう、引き続き資料を整備していく。

順調であると評価する。

次年度以降の取組・改善

☐必要あり

☒必要なし

備考：

11:総 評

環境に大きな影響を及ぼしている活動、施設、設備などについて検討した結果、営業活動および製造製作において二酸化炭素排出量のほとんどを占めている事が特定できた。

営業活動では営業車の化石燃料の使用によるもの。製造製作では電力使用量によるものが大半となる。

環境経営活動目標の結果については、全ての数値目標を達成することが出来なかった。購入電力、Co₂排出量、ガソリン、コピー用紙については、過去2年間と比較しても大幅に削減できたと思われる。

水使用量と灯油の超過については、3%以下だったので削減の余地はあると思われる。産業廃棄物の超過については、改築した際に出た不要な廃材を処分したためである。よって今回の是正の必要はないと思われる。

今回の結果を踏まえ、より環境に配慮した活動に努める。

本年度の環境効率指数（下記参照）は、昨年度より上がった。

次年度以降もこの結果を維持・向上出来る様に邁進する。

また、作業員の健康の維持も環境活動に勝るとも劣らない大切なことであるので、無理な目標にならぬようように持続可能な目標に再設定する。

これらを改善しつつ上記の事も踏まえて、全社員協力して引き続き環境配慮活動を行っていく。

環境効率指数：売上高（100万円）÷二酸化炭素排出量（t）の推移は、
令和4年度：2.53・令和5年度：2.53・令和6年度：3.38
となった。